



# 社協職連協にゆ〜す

第52号

発行：茨城社会福祉協議会職員連絡協議会  
令和7年1月6日 発行

第52号は、中央支部が担当いたします。

中央支部は、茨城県・水戸市・笠間市・小美玉市・大洗町・城里町・茨城町の7支部の社協で構成されており、会員数は251名です。

今回は、中央支部の活動内容を紹介させていただきます。

## 中央支部研修会

令和6年7月9日(火)に、茨城町総合福祉センターゆうゆう館にて、能登半島災害とBCP（業務継続計画）についての理解を深めることを目的として、茨城県介護支援専門員協会で災害対策委員長を務めている志村大宮病院の小野健悦先生を講師としてお招きし、ご講義をいただきました。

当日は中央支部の会員27名が参加され、小野先生からは能登半島の被災状況や派遣先での社協職員の支援内容、大規模災害時の高齢者等の身体が不自由な方への対応方法について、ご説明をいただきました。また、BCPについても災害ごとの被災想定やハザードマップ・備蓄品の確認方法、机上訓練の必要性について参加者間でワークを行い、BCPの運営に向けて学びの多い研修会となりました。



小野先生の講義の様子



受講者の様子

### 参加者の感想

- ・能登半島で実際にボランティア活動をされた先生の研修を受けることができ、被災地の実情を知ることができ貴重な学びになりました。
- ・被災地での身体が不自由な方や認知症のある方への対応方法を知ることができました。また他の事業所との連携の大切さを学びました。
- ・BCP訓練について、どのように進めていけばよいか悩んでいたが、この研修で発電機等の取扱いに関する訓練について知ることができ、当社協でも早速訓練を行いました。日頃、発電機に触れる機会がない職員が多いことから、有意義な訓練とすることができました。
- ・BCPの運営方法や見直しについて不安があったが、研修会を受講して具体的な訓練方法や見直しのポイントについて理解することができました。

# 中央支部ボーリング大会

令和6年10月25日(金)大学ボウル水戸店において、中央支部主催のボーリング大会を開催しました。午後6時50分から開会式を行い、茨城町社会福祉協議会 芝沼孝文グループ長による始球式を行った後、それぞれ一斉に始まりました。

1レーン3名位でチーム編成し、2ゲーム実施。総勢51名の参加者で、楽しく交流することができました。また会場からは、ストライクやスペアが出る度に「イエーイ」「スゴイ」等の掛け声とともに、ハイタッチする姿が何度も見られました。



表彰式では、1～35位までの20名に対してクジ引きによる景品贈呈を行い、入賞できなかった方には「参加賞」をお渡ししました。

ボーリングを通して、他社協職員との交流や情報交換を図ることができました。

## 参加者の感想

・コロナ流行後、職場の中でも交流する機会が減少していると感じていましたが、今回他の職場の方達とボーリングのスコアに熱中し、一投一投歓声をあげて喜びを共有し合うことが出来て、ストレス発散や適度な運動になったと思います。

・他の社協の方といろいろ話す機会になり、交流や情報交換ができて良かったです。参加賞があったのも良かったし、こういった交流の機会は大事だと思います。

・ボーリング大会後に同じチームだった方へ連絡し、視察させていただきました。電話連絡や視察の際もボーリングのおかげでとてもスムーズにできました。ありがとうございました。

・日頃、交流がない他社協の方ともお話する機会があって良かったです。入賞もまんべんなく配慮があり、下手な私も「もしかしたら…!!」と期待が持てて楽しかったです。

・子連れにも関わらず、同じチームの方に優しく接していただいて、ありがとうございました。知らない方ともハイタッチしたり、誰とでも自然と盛り上がったので楽しかったです。

